

第3章 ごみ減量化計画の目標

1. 資源循環型社会（都市）の実現

基本目標

環境基本計画の理念に基づく「資源循環型社会（都市）の実現」

本市は人口5万6千人（平成14年12月末現在）を有する、海辺に面した河口のまちであり、水と緑に深い関わりを持つ都市環境は、市民の貴重な財産です。このような、豊かな環境を保全し、次代に引き継ぐことが、私たちの責務です。平成13年10月に策定された石狩市環境基本計画の理念に基づき、持続可能な社会を目指し、ごみの発生を抑制し、排出されたごみを資源としてとらえ、再使用や、再資源化を進めることを基本とした社会、すなわち「資源循環型社会（都市）の実現」をごみ減量化計画の基本目標とします。

2. ごみ減量の基本方針

基本方針

リ・スタイル（Re - Style）の実現

ごみの発生抑制	リデュース（Reduce）
製品・部品の再利用	リユース（Reuse）
原材料や熱などへの再資源化	リサイクル（Recycle）

石狩市環境基本計画の理念に基づく、資源循環型社会（都市）の実現に向け、ごみの発生抑制（リデュース）、製品の再利用（リユース）、原材料への再資源化（リサイクル）を合わせた、リ・スタイル（3R）に根ざした暮らし方を目指すために、次の3つをごみの減量とリサイクル推進の基本方針とします。

ごみの発生抑制 リデュース（Reduce）

ごみを減らす一番簡単な方法は、ごみを出さないことです。徹底的にごみとして捨てるものを減らし、少しでもごみの減量に協力することが大切です。（例：買い物袋の持参）

製品・部品の再利用 リユース（Reuse）

いらなくなったものを、ごみとして捨ててしまう前に、何かに使えないかを考えてみるのが、大切です。自分ではもういらなくなったと思っても、他に必要としている人がいることもあります。

リユースは、一番コストのかからないリサイクルと言えます。（例：リターナブルびんの利用）

原材料や熱などへの再資源化 リサイクル（Recycle）

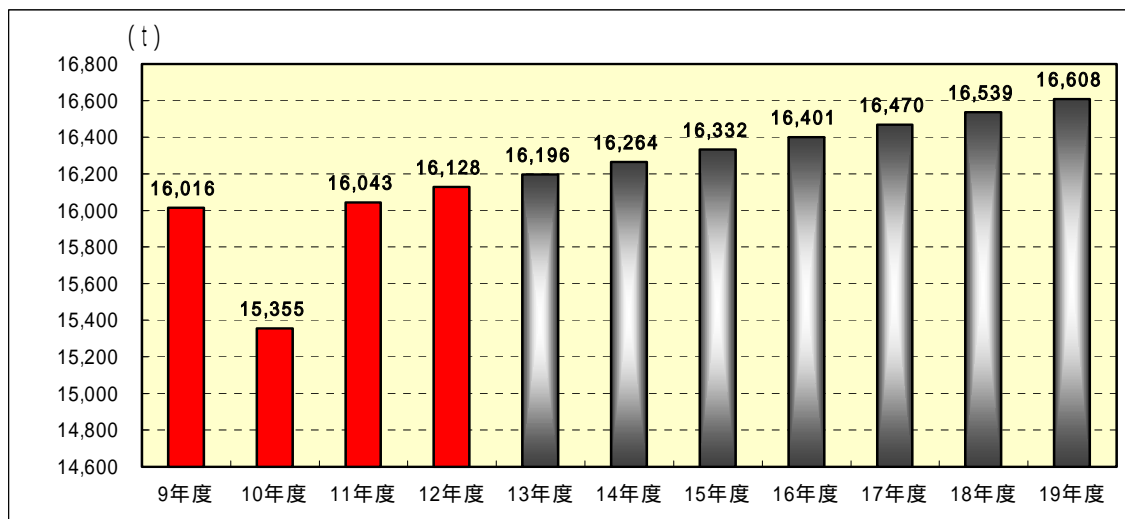
ごみを減らし、何度も再使用した結果、どうしても残ってしまったものの最後の手段がリサイクルです。リサイクルには、ごみを減らすだけでなく、資源の節約、地球温暖化の防止など、地球環境にやさしい効果がたくさんあります。（例：集団資源回収への協力）

3. ごみ量の推移予測

(1) 家庭系ごみ量の推移 (減量施策実施前の予測)

平成8年度～平成12年度の伸び率で考えると、ごみの減量に取り組まなければ、グラフ8のようにごみが増え続けます。

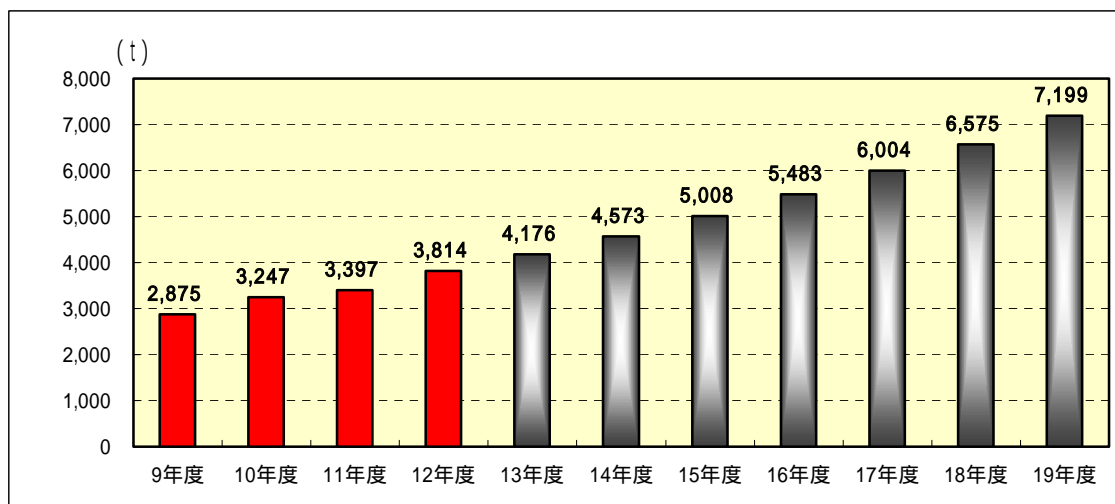
【グラフ8 家庭系ごみ量の増加予測】



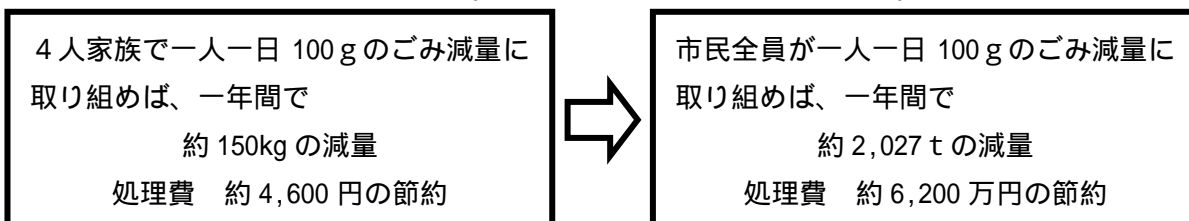
(2) 事業系ごみ量の推移 (減量施策実施前の予測)

平成8年度～平成12年度の伸び率で考えると、ごみの減量に取り組まなければ、グラフ9のようにごみが増え続けます。

【グラフ9 事業系ごみ量の増加予測】



ごみを減量したらどんな効果が? (平成13年度の実績を参考に想定)



4. 数値目標

(1) ごみ減量目標

ごみの発生抑制や、ごみ排出前のリサイクルの推進を図った上で、最終的に焼却処理や埋立処分しななければならないごみの減量を重点として取り組むこととし、減量目標を設定します。

石狩市が処理するごみ量を、ごみの発生抑制やリサイクルを促進することにより、平成 19 年度までに、

家庭系ごみは 平成 12 年度の市民一人当たり一日に出すごみ量の実績に比べて

13%減量することを目標とします。

事業系ごみは 平成 12 年度のごみ量の実績に比べて

30%減量することを目標とします。

家庭系ごみの減量目標

平成 12 年度、市民一人当たり一日に出すごみ量の 13%減量を目標とします

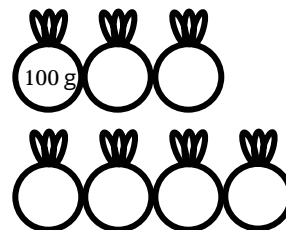
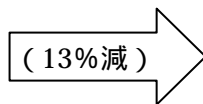
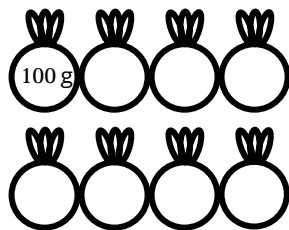
平成 12 年度実績

799 g / 人・日

100 g 減量

平成 19 年度目標

699 g / 人・日



目標達成には、「いしかり・ごみダイエット 100 運動」(1 人 1 日 100 グラムのごみ減量)の実施が不可欠です。(100 グラムの目安…生たまご 2 個分)

市民一人あたり一年間に出すごみ量では、「いしかり・ごみダイエット 100 運動」の実施により、平成 12 年度実績 292 キログラム / 人・年から 39 キログラム減量の 253 キログラム / 人・年になります。

事業系ごみの減量目標

平成 12 年度ごみ量の 30%の減量を目標とします

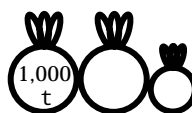
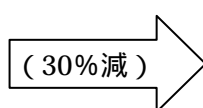
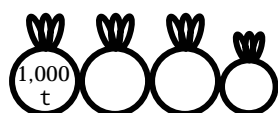
平成 12 年度実績

3,814 t

1,144 t 減量

平成 19 年度目標

2,670 t



(2) リサイクル目標

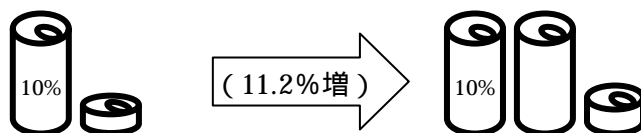
ごみを再び資源として活用することは、新たな資源の浪費を抑制し、環境負荷を低減することにつながります。

そのため、「ごみは資源」であるという認識に立ち、排出されたごみは徹底的な資源化を行うよう、リサイクル目標を設定します。

石狩市が処理するごみのリサイクル率を、平成19年度までに、
23%に引き上げることを目標とします。

平成12年度のリサイクル率11.8%を23%にすることを目標とします

平成12年度実績		平成19年度目標
11.8%	11.2%増	23%



石狩市のリサイクル量

$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{石狩市のリサイクル量}}{\text{石狩市が処理するごみ量} + \text{石狩市のリサイクル量}}$$

平成14年度現在のリサイクル量は、リサイクルプラザでの資源物回収量および、集団資源回収量の合計ですが、今後、新たなリサイクルの施策が実施された場合には、それらを含めて計算します。